

今月発足した「アンスティチュ・フランセ日本」代表

Bertrand Fort

ベルトラン・フォールさん(47)



パリ政治学院卒業。アジア・ヨーロッパ財団副理事長などを経て、11年9月から在日仏大使館の文化参事官。

今月発足した「アンスティチュ・フランセ日本」の初代代表に就任した。機構改革によって大使館文化部、東京日仏学院などを統合したもので、日仏文化交流の窓口

は古い。今回統合されたもののひとつ、旧関西日仏学館(京都)は、外交官で作家のポール・クロードルらが1927年に創設した。現在もフランスは映画監督の北野武氏

の作品や、アニメ、漫画など日本の現代文化を最も愛する国の一つだ。なぜひかれ合うのか。理由を尋ねると「両国間のシンパシーは『本能的なもの』とのクロードルの指摘に同感だ。ともに伝統を愛すると同時に、新しい文化を創造してきた」という答えが返ってきた。

自身の最初の日本体験はパリで柔道を習い始めた9歳の時。大会出場のために来日した。言葉も分らない国で、京都にある道場に入った瞬間、「自分は将来この国に住むだろう」と直感したという。「ひらめきに近い体験だった。残念だったのは、実現までに40年近くかかったこと」

ジャーナリストとしてタイやインドネシアなどで働いた経験から「アジアの防衛問題」などの研究者となり、仏国防省にも在籍した。一見畑違いの文化行政を担うのは「研究するうちに、住民同士の文化的な交流や対話が、平和の一つの条件だと気づいたから」だという。

文と写真・長沢晴美



を二本化し、活性化を狙う。「特にフランスの現代文化を、どんどん日本へ発信していきたい」と意欲的だ。

両国の文化交流の歴史は古い。今回統合されたもののひとつ、旧関西日仏学館(京都)は、外交官で作家のポール・クロードルらが1927年に創設した。現在もフランスは映画監督の北野武氏

の作品や、アニメ、漫画など日本の現代文化を最も愛する国の一つだ。なぜひかれ合うのか。理由を尋ねると「両国間のシンパシーは『本能的なもの』とのクロードルの指摘に同感だ。ともに伝統を愛すると同時に、新しい文化を創造してきた」という答えが返ってきた。

自身の最初の日本体験はパリで柔道を習い始めた9歳の時。大会出場のために来日した。言葉も分らない国で、京都にある道場に入った瞬間、「自分は将来この国に住むだろう」と直感したという。「ひらめきに近い体験だった。残念だったのは、実現までに40年近くかかったこと」

Le Mainichi publie un portrait de M. Bertrand Fort, conseiller culturel à l'Ambassade de France au Japon et également directeur de l'Institut français du Japon (IFJ) qui vient d'être créé suite à la fusion de l'Institut franco-japonais avec le service culturel de l'ambassade de France. Le journal note que M. Bertrand Fort souhaite activement diffuser la culture française au Japon. (M-m, p.6)